

第9回 全国高等学校 ビジネスアイデア甲子園 応募用紙

提出日 2010年 10月 7日

ビジネスアイデア名	「めぶきの家」
アイデアの内容	<p style="margin: 0;">< 記入のポイント > ① アイディアの概要(どのようなものですか)</p> <p style="margin: 0;">② アイディアを思いついたキッカケ</p> <p style="margin: 0;">③ これまでのものとの違い</p> <p style="margin: 0;">④ 商品やサービスなどのイメージ図 などを織り込んでまとめてください</p>
<p>①元気でやる気があり、働きたいという願望がある定年退職者が、保育士の代わりとなって働くというアイデア。0歳～5歳までの子どもを対象にサービスを提供する。しかし無資格の定年退職者に子どもを任せるのは少し不安を感じると思うので、現役の保育士による講座などを開いて定期的に保育について学ぶ機会を作る。実際の仕事場にも保育士を置いて、定年退職者の指導や支援を行う。保育士の割合は6割、高齢者の割合を4割にする。(東京都に認証保育園として認めてもらうため)</p> <p>上記のように東京都に展開していくのなら駅前に建てることを原則として認証保育園として改修費などの補助を都から受けることもでき、より多忙な保護者のニーズにこたえることができ、格安で子どもを預かることが可能になります。まず認証を受けず、他の都道府県で設立する場合は定年退職者のみでの運営も可能です。</p> <p>②年々、保育所の数が増えているにもかかわらず待機児童数が増加していることを受け、保育所に替わる新しい施設を作ったらいいのではないかと思ったことと、子どもと高齢者という世代を超えた交流を通して、昔の文化や伝統が、伝わっていく機会を作るべきではないかと思ったことから、このアイデアを思いつきました。</p> <p>③既存の保育園は費用の割に保育の質が低かったり保育期間が短かったりすることがあり色々な問題を抱えています。しかしこのアイデアは元気でやる気のある高齢者を雇用し、仕事をするのにあたって必要な最低限の知識を事前に学んでもらうので保育の質は保障されるはずで、費用の問題に関しても、大部分は定年退職後の保育士の資格のない高齢者を雇って運営していくので、既存の保育園と比べて人件費が少なくすみます。人件費がかからない＝保護者の負担も軽く済むということにつながります。現在の保育士の年収は平均で320万円です。高齢者雇用安定法にならって給料は現役の保育士の75%ほどとします。勤務日数は原則1日おきに最低6時間、交代制で13時間を保育時間にします。現在高齢者の雇用を促進する働きが盛んで試行雇用奨励金などといった高齢者の就職、再就職を助ける政策も利用することも可能です。</p> <p>また、子どもの教育についても、同年代の子どもと接するだけでなく高齢者とも世代を超えた交流ができるので、多様なコミュニケーション能力を幼いうちから身につけることができます。そして高齢者との交流により、今まで核家族化によって伝わりにくかった伝統や昔の遊びなどを伝えていくことができます。保育園よりもっと家族的で気軽に利用できる施設になればいいと思います。</p>	

《 注 意 事 項 》 応募は、本紙またはコピーを使用してください。
 応募要項および応募用紙は当センターへご請求いただくか、「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」ホームページ
 【大阪商業大学】▶【リエゾンセンター】▶【アイデア甲子園】(http://ouc.daishodai.ac.jp/research/high_school/business_idea/)から
 ダウンロードしてください。
 追加資料をつけても構いません。ただしA4・1枚のみ。※規定を超えるものについては審査の対象外となりますのでご注意ください。